



2023年1月13日

各位

会社名 サインポスト株式会社  
代表者名 代表取締役社長 蒲原 寧  
(コード番号: 3996 東証プライム市場)  
問合せ先 常務取締役コーポレート本部長 西島 雄一  
(TEL. 03-5652-6031)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年4月14日に公表した2023年2月期(2022年3月1日～2023年2月28日)の通期の業績予想を、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2023年2月期通期の業績予想値の修正(2022年3月1日～2023年2月28日)

|                         | 売上高<br>(百万円) | 営業利益<br>(百万円) | 経常利益<br>(百万円) | 当期純利益<br>(百万円) | 1株当たり<br>当期純利益<br>(円) |
|-------------------------|--------------|---------------|---------------|----------------|-----------------------|
| 前回発表予想(A)               | 2,893        | 26            | 22            | 16             | 1.25                  |
| 今回修正予想(B)               | 2,580        | △90           | △99           | △112           | △8.77                 |
| 増減額(B-A)                | △313         | △116          | △121          | △128           |                       |
| 増減率(%)                  | △10.8        | —             | —             | —              |                       |
| (ご参考)前期実績<br>(2022年2月期) | 2,119        | △378          | △382          | △291           | △23.08                |

#### 2. 業績予想の修正理由

2023年2月期第3四半期累計期間における業績の進捗及び営業活動の状況を踏まえて、通期の売上高の見通しを313百万円下方修正しました。利益面では、販売費及び一般管理費の削減に努めているものの、減収による売上総利益の減少の影響が大きいことにより、営業損失、経常損失及び当期純損失を計上する見込みです。

主な減収要因は、次のとおりであります。

##### (コンサルティング事業)

金融業界において勘定系システムの更改・統合及びIT化推進等のIT関連投資は活発な状況が続いており、当社のプロジェクトマネジメント支援等のコンサルティングサービスに対しても、来期以降も高水準の需要がある見込みです。一方で、IT人材の不足と獲得競争が一段と深刻になっており、今期は需要に対して十分な要員を充足することができませんでした。これらの結果、売上高が当初の計画に比べておよそ72百万円下回ることとなりました。

##### (イノベーション事業)

書店向けセルフレジ「ワンダーレジ-BOOK」について、得意先の事情及び営業状況を踏まえて販売計画を見直した結果、今期中に見込んでいた販売が来期に後ずれすることとなりました。加えて、店舗ソリューションの受託開発が得意先の都合により中断されたこと等の減収要因がありました。これらの結果、売上高が当初の計画に比べておよそ182百万円下回ることとなりました。

(DX・地方共創事業)

事業は進捗しているものの、足元の営業状況を踏まえて売上高を 59 百万円下方修正しました。

### 3. 売上高及び営業利益の推移

#### 6 か月毎の売上高及び営業損益の推移

|           | 前期(2022年2月期)        |                     | 当期(2023年2月期)        |                     |
|-----------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
|           | 第1・第2四半期<br>(3月～8月) | 第3・第4四半期<br>(9月～2月) | 第1・第2四半期<br>(3月～8月) | 第3・第4四半期<br>(9月～2月) |
| 売上高(百万円)  | 967                 | 1,151               | 1,266               | 1,313<br>(計画値)      |
| 営業利益(百万円) | △263                | △115                | △52                 | △37<br>(計画値)        |

今期からは、前期までに蒔いた成長の種の収穫を始める年と位置づけており、売上高は増加、また営業損益は改善を続けています。通期では、売上高は前期に比べて 460 百万円増加の 2,580 百万円、営業損失は前期に比べて 288 百万円減少の 90 百万円となる見込みです。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上